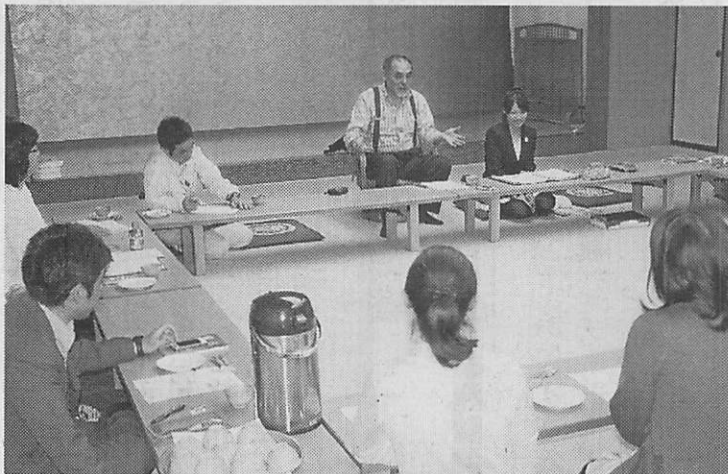


## 知れば知るほど面白い

## 古事記



座談会で多羅尾さん(中央)の話聞く徳林さん(その右)や参加者たち(5月23日に開かれた本年度第1回古事記座談会)

高校時代に荒神神楽に打ち込んだ若者を中心とする有志のグループが、

一般の人を対象とした「古事記座談会」を毎月1回、米子市淀江町の淀江ゆめ温泉白鳳の里で開いている。荒神神楽の演目のオロチ退治や国譲りなどのストーリーが古事記に記された神話に基づいていることから勉強を始めたが、一歩進めて「地域の人たちと一緒に古事記の理解を深め、地域の振興を」と座談会参加者の輪を広げつつある。20日午後7時から本年度2回目の座談会がある。このグループは鳥取荒神神楽研究会(7人)。

## 荒神神楽の若者集団

## 演目縁に座談会 あす第2回開催 淀江

神楽や地域の振興に関心を持つ鳥取県西部などの20代の若者の集まりで、会長の同市、会社員、徳林亜美さん(23)ら日野高校時代に郷土芸能部に所属し、国内外で荒神神楽を披露した人たちが中心となつて2011年に立ち上げた。

神楽の公演や関連団体との交流などの活動のほか、神話観光の振興に取り組む同市の古代出雲王国研究会代表、多羅尾整治さん(65)と連携し開いているのが古事記座談会。「山陰の古事記謎解

き旅ガイド」などの著書がある多羅尾さんが毎回、古事記の内容と背景を分かりやすく語る。「知れば知るほど神楽や古事記の面白さが分かってくる」と徳林さん。多羅尾さんの話を聞いて「神々はとても人間的」と感じたりすると、神楽の演技にも「より心が入る」とも言う。

島根、鳥取両県は「古事記」上巻に記された神話の主要な舞台。「若い世代をはじめ大勢の人々に神話や神楽を知って地元を好きになってもらいたい」と素晴らしいおもてなしになる。それが古事記座談会の開催に込める徳林さんらの思いだ。

座談会には誰でも参加できる。参加費は千円。若者割引があり、29歳以下は500円、19歳以下は無料。問い合わせは電話0859(62)0800、同研究会事務局へ。